SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 1 月 27 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の(又は中長期的な)あるべき姿

事業活動を通じて健やかで文化的な市民生活の向上と快適な地域社会の実現を図り、活き活き暮らせる静岡市の創造に 寄与する。

事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動

管理施設を中心に、地元自治会や大学等さまざまな団体と連携協働して事業を実施している。

目標に関連する取組内容									
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標						
3 \$27447 	・管理施設を活用したスポーツ・健康 増進事業の実施 ・市民の心身の健全な発達と健康増進 を目的としたスポーツ教室及び フィットネス講座等の開催 ・幅広い年代を対象とした健康に関す るイベントの開催 ・上記事業について、新しい生活様式 を踏まえた実施方法の検討	・新型コロナウイルスの影響が続いたことから、予定していた事業の一部中止、延期を余儀なくされた。実施した事業についても、人数を制限するなど感染拡大防止のため規模を縮小した。	・管理施設を活用したスポーツ・健康 増進事業の実施 ・市民の心身の健全な発達と健康増進 を目的としたスポーツ教室及び フィットネス講座等の開催 ・幅広い年代を対象とした健康に関す るイベントの開催 ・上記事業について、新しい生活様式 を踏まえた実施方法の検討						
4 motorers	・市民の文化教養の向上、生涯学習の 推進等を目的とした教養講座の開催 ・勤労者のスキルアップを目的とした パソコン講座の開催 ・上記事業について、新しい生活様式 を踏まえた実施方法の検討	・新型コロナウイルスの影響が続いたことから、予定していた事業の一部中止、延期を余儀なくされた。実施した事業についても、人数を制限するなど感染拡大防止のため規模を縮小した。	・市民の文化教養の向上、生涯学習の 推進等を目的とした教養講座の開催 ・勤労者のスキルアップを目的とした パソコン講座の開催 ・上記事業について、新しい生活様式 を踏まえた実施方法の検討						
8 TABLE	・時間外労働の抑制・年次有給休暇の取得促進・同一労働同一賃金への対応	・時間外労働の抑制を図った。 ・一般事業主行動計画において年次有 給休暇の取得率向上を掲げ、社内に 周知した。 ・同一労働同一賃金に伴い、非正規職 員の手当等の見直しを図った。	・時間外労働の抑制 ・年次有給休暇の取得促進						
11 Storman	・中心市街地の活性化に資する事業の実施 ・管理施設を活用した地域振興支援事業の実施 ・上記事業について、新しい生活様式を踏まえた実施方法の検討 ・低額所得者向けの住宅の提供及び生活環境の安定を図る事業の実施 ・公共道路のパトロール業務及び駐車場の運営、駐車場情報の発信による円滑で快適な交通環境の維持	 ・新型コロナウイルスの影響が続いたことから、予定していた事業の実施の主人を会議なくされた。実にした事業にでいたのため規模をがあるなど感染拡大防止のため規模を縮いした。 ・住宅入居者に対対意喚起を周知した。 ・住宅入居者に対きでの地域を関が、イ感、中止、対路のパトロールのではより、対路のがより、対路のが、は、対域を対象をでは、対域を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	・中心市街地の活性化に資する事業の実施 ・管理施設を活用した地域振興支援事業の実施 ・上記事業について、新しい生活様式を踏まえた実施方法の検討 ・低額所得者向けの住宅の提供及び生活環境の安定を図る事業の実施 ・公共道路のパトロール業務及び駐車場の運営、駐車場情報の発信による円滑で快適な交通環境の維持						
13 status 14 status 15 status	・地球温暖化や海洋環境等に関する情報を発信し、環境保全を啓発するイベントの開催 ・竹材の活用により放置竹林対策に資する教室等の開催 ・上記事業について、新しい生活様式を踏まえた実施方法の検討	・新型コロナウイルスの影響が続いた ことから、予定していた事業の一部 中止、延期を余儀なくされた。実施 した事業についても、人数を制限す るなど感染拡大防止のため規模を縮 小した。	・地球温暖化や海洋環境等に関する情報を発信し、環境保全を啓発するイベントの開催 ・竹材の活用により放置竹林対策に資する教室等の開催 ・上記事業について、新しい生活様式を踏まえた実施方法の検討						
17 2000000	・上記取組を行政、地元自治会、商店 街、大学等と連携して実施 ・上記事業について、新しい生活様式 を踏まえた実施方法の検討	・新型コロナウイルスの影響が続いたことから、予定していた事業の一部中止、延期を余儀なくされた。実施した事業についても、人数を制限するなど感染拡大防止のため規模を縮小した。	・上記取組を行政、地元自治会、商店 街、大学等と連携して実施 ・上記事業について、新しい生活様式 を踏まえた実施方法の検討						

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称		公益財団法人静岡市まちづくり公社			
			本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数 12 事業所			
2	業	種	1 4. その他			
3	従業員	(構成員)数	229 人			
4	代表者 職・氏名	職名	l	理事長		
		₩ • 八石	氏 名	l	片山 幸久	
5	所 在 地	〒 420-0035				
			静岡市葵区七間町12番4			
6	ホーム〜	ページURL	https://s-ppc.com			